

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 関東電化工業株式会社		住所 〒 100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目3番2号	
本票作成	部署名：関東電化工業株式会社 水島工場 安全環境保安部			
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業	
事業の概要	電池材料やエッティングガス等のフッ素事業と苛性ソーダや有機溶剤等の塩水電解事業			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	水島工場	倉敷市松江四丁目4番8号	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシ-250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所      ●車両台数 (②該当の場合) 台			
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和6年度)	
	114,437 t CO <sub>2</sub>	99,220 t CO <sub>2</sub>	115,139 t CO <sub>2</sub>	
	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量	
	①	水島工場	99,220 t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和6年度(1箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準 (6)年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準 △ 4.0 %		2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達
	(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
基準年度			(6)年度	目標年度
1.337 t CO <sub>2</sub> /(t)			1.391 t CO <sub>2</sub> /(t)	1.310 t CO <sub>2</sub> /(t)
(該当事業者のみ記入)				
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称 ソーダ工業	ベンチマーク指標 3.000 GJ/t 以下	関連数値(令和6年度) 3.254 GJ/t	達成率等 92.2%

【削減状況の自己評価】

- 温室効果ガスの排出量は減少したが、生産量がそれ以上に減少したことにより、原単位が悪化した。その要因は、生産を停止した設備で設備を維持するために電気を継続して使用したためである。
- ベンチマーク指標は、昨年度とほぼ同じ数字であり、その要因は水素ボイラ稼働率が低水準であったことによる。

### 【推進体制】

- ・サステナビリティ推進委員会の下部組織である地球環境対策部会で温室効果ガス排出量削減の目標を定め、RC推進会議の下部組織である安全環境保安委員会で省エネルギーの目標を定めている。これらの目標を水島工場では、環境保安委員会の下部組織である省エネ推進委員会で省エネ活動の推進を図っている。

### 【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>(令和6年度実施分) ・太陽光発電設備の稼働 発電量：約803千kWh (2024年4月～2025年3月実績)</p> <p>(今後実施予定分) ・蒸気使用量および蒸気ロスの削減 ①蒸気ドレン有効利用による気化器の蒸気使用量削減（継続） (CO2削減量：約80t-CO2/y) ②蒸気配管等保温修繕による蒸気ロス削減（継続） ③滴状凝縮技術による熱交換器の伝導率向上による蒸気使用量削減 (CO2削減量：約15.6t-CO2/m) ④廃液処理工程の見直しによる蒸気使用量削減 (CO2削減量：約365t-CO2/y)</p>

### 【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

### 【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

### 【その他特記事項】